

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-132890

(43)Date of publication of application : 10.05.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

B65G 1/137

(21)Application number : 2000-329455

(71)Applicant : NEC SOFT LTD

(22)Date of filing : 27.10.2000

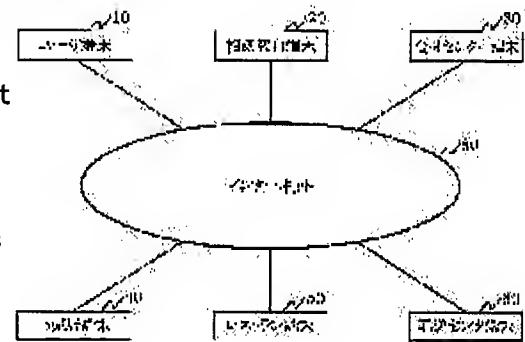
(72)Inventor : IWAMOTO HIROKAZU

(54) INTERNET MENU PROVIDING SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To solve the problem that a family having a patient requiring food curing of representative diabetes, high blood pressure, atopic dermatitis, etc., worry about generating a menu for each meal very much since food materials which do not match symptoms should not be used for the meal.

SOLUTION: A consultation counter for menus is provided on the internet and linked with a user, restriction conditions of menus that individual users have are stored at the consultation counter to provide menus meeting the restriction conditions, and it is made possible to efficiently handle a small quantity distributed articles which are frequently slighted. Menus for health persons and menus for curing persons requiring food curing are provided in various forms including the provision of recipes, the provision of desired dishes at a restaurant that a user desired, etc., to provide broad environment of foods.



(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-132890

(P2002-132890A)

(43) 公開日 平成14年5月10日 (2002.5.10)

(51) Int.Cl.⁷

G 06 F 17/60

識別記号

1 2 0

F I

テーマコード*(参考)

Z E C

G 06 F 17/60

1 2 0 3 F 0 2 2

1 2 6

1 2 6 W

3 0 2

3 0 2 C

3 1 8

3 1 8 G

審査請求 有 請求項の数 8 O L (全 10 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号

特願2000-329455(P2000-329455)

(71) 出願人 000232092

エヌイーシーソフト株式会社

東京都江東区新木場一丁目18番6号

(22) 出願日

平成12年10月27日 (2000.10.27)

(72) 発明者 岩元 啓和

東京都江東区新木場一丁目18番6号 エヌ
イーシーソフト株式会社内

(74) 代理人 100082935

弁理士 京本 直樹 (外2名)

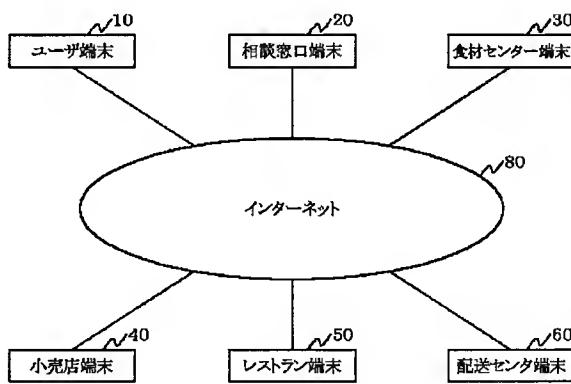
F ターム(参考) 3F022 AA15 MM08 MM44

(54) 【発明の名称】 インターネット献立提供システム

(57) 【要約】

【課題】 糖尿病、高血圧、アトピー性皮膚炎等に代表されるような食事治療を必要とする家族を抱えた家庭では、病状にあわない食材を使わない食事とするため、毎食の献立の作成に非常に苦慮していた。

【解決手段】 インターネットに献立の相談窓口を設定し相談窓口とユーザとを結び付け相談窓口では個々のユーザの持つ献立についての制約条件を記憶し制約条件に適合した献立の提供等の対応を行い、今まで軽視されがちだった小口流通品に対しても効率的に対処できるようになる。健康人向けの通常献立や食事治療を必要とする人向けの治療用献立をレシピの提供やユーザの希望するレストランでの希望する食事の提供等を含む様々な形で行う事により、幅広い食事の環境を提供する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ユーザが食事についてのレシピの相談とレシピの決定を行う為に家庭内に設置されたユーザ端末と、前記ユーザ端末からのレシピの相談に応対してレシピを提案する相談窓口に設置された相談窓口端末と、前記相談窓口端末からレシピで指定された食材の種類と分量についての情報を受信する食材センターに設置された食材センター端末と、前記相談窓口端末から食材センターの食材を引き取る日時と小売店への配送の日時の通知を受信する配送センターに設置された配送センター端末と、前記相談窓口端末から前記食材の配送日時と前記ユーザによる食材の受け取り日時の通知を受信する小売店に設置された小売店端末と、前記ユーザ端末と前記相談窓口端末と前記食材センター端末と前記配送センター端末と前記小売店端末を接続するインターネットと、を含むことを特徴とするインターネット献立提供システム。

【請求項2】 ユーザが食事についてのレシピの相談とレシピの決定を行う為に家庭内に設置されたユーザ端末と、前記ユーザ端末からのレシピの相談に応対してレシピを提案する相談窓口に設置された相談窓口端末と、前記相談窓口端末からレシピで指定された食材の種類と分量についての情報を受信する食材センターに設置された食材センター端末と、前記相談窓口端末から食材センターの食材を引き取る日時とレストランへ配送する日時と当該食材をもとに調理済みの食事のレストランからの受け取り日時と調理済み食事の小売店への配送日時の通知を受信する配送センターに設置された配送センター端末と、前記相談窓口端末から配送センターが配送する食材の受け取り日時とその食材から調理済み食事を作るとその調理済み食事を配送センターが引き取る日時との通知を受信するレストラン端末と、前記相談窓口端末から前記調理済み食事が配送される日時と調理済み食事のユーザへの引き渡し日時の通知を受信する小売店に設置された小売店端末と、前記ユーザ端末と前記相談窓口端末と前記食材センター端末と前記配送センター端末と前記レストラン端末と前記小売店端末を接続するインターネットと、を含むことを特徴とするインターネット献立提供システム。

【請求項3】 ユーザが食事についてのレシピの相談とレシピの決定を行う為に家庭内に設置されたユーザ端末と、前記ユーザ端末からのレシピの相談に応対してレシピを提案する相談窓口に設置された相談窓口端末と、前記相談窓口端末からレシピで指定された食材の種類と分量についての情報を受信する食材センターに設置された食材センター端末と、前記相談窓口端末から食材センターの食材を引き取る日時とレストランへ配送する日時の通知を受信する配送センターに設置された配送センター端末と、前記相談窓口端末から配送センターが配送する食材の受け取り日時とその食材により調理済み食事を作りレストランに来るユーザに提供する日時の通知を受信

するレストラン端末と、前記ユーザ端末と前記相談窓口端末と前記食材センター端末と前記配送センター端末と前記レストラン端末とを接続するインターネットと、を含むことを特徴とするインターネット献立提供システム。

【請求項4】 ユーザが食事についてのレシピの相談とレシピの決定を行う為に家庭内に設置されたユーザ端末と、前記ユーザ端末からのレシピの相談に応対してレシピを提案する相談窓口に設置された相談窓口端末と、前記相談窓口端末からレシピで指定された食材の種類と分量についての情報を受信する食材センターに設置された食材センター端末と、前記相談窓口端末から食材センターの食材を引き取る日時とユーザへの配送の日時の通知を受信する配送センターに設置された配送センター端末と、前記ユーザ端末と前記相談窓口端末と前記食材センター端末と前記配送センター端末とを接続するインターネットと、を含むことを特徴とするインターネット献立提供システム。

【請求項5】 ユーザが食事についてのレシピの相談とレシピの決定を行う為に家庭内に設置されたユーザ端末と、前記ユーザ端末からのレシピの相談に応対してレシピを提案する相談窓口に設置された相談窓口端末と、前記相談窓口端末からレシピで指定された食材の種類と分量についての情報を受信する食材センターに設置された食材センター端末と、前記相談窓口端末から食材センターの食材を引き取る日時とレストランへ配送する日時と当該食材をもとに調理済みの食事のレストランからの受け取り日時と調理済み食事のユーザへの配送日時の通知を受信する配送センターに設置された配送センター端末と、前記相談窓口端末から配送センターが配送する食材の受け取り日時とその食材から調理済み食事を作るとその調理済み食事を配送センターが引き取る日時との通知を受信するレストラン端末と、前記ユーザ端末と前記相談窓口端末と前記食材センター端末と前記配送センター端末と前記レストラン端末とを接続するインターネットと、を含むことを特徴とするインターネット献立提供システム。

【請求項6】 ユーザの疾病情報を含む健康管理情報をユーザの過去の健康管理情報を含めて記憶し該健康管理情報からユーザの希望に対応するレシピを提供する相談窓口端末を有することを特徴とするインターネット献立提供システム。

【請求項7】 ユーザへの食事の献立の相談を行いユーザの健康状態にあわせた食事についてのレシピを提案し、ユーザが選定したレシピを元にした食事の準備をレストラン端末に指示する相談窓口端末を有することを特徴とするインターネット献立提供システム。

【請求項8】 ユーザへの食事の献立の相談を行いユーザの健康状態にあわせた食事についてのレシピを提案し、ユーザが選定したレシピを元にした食事の用意を食

40

50

材センター端末に指示し、ユーザへの該食材の引き渡しを小売店端末に指示する相談窓口端末を有することを特徴とするインターネット献立提供システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、家庭における食事献立の用意等の支援システムに関し、特にインターネット上に開設された献立の相談システムがユーザが端末から与えた献立についての制約条件をもとにそれに適合するレシピの提供やレシピに従った食材の提供や食事の提供を行なうインターネット献立提供システムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、糖尿病、高血圧、アトピー性皮膚炎等に代表されるような食事治療を必要とする家族を抱えた家庭では、病状にあわない食材を使わずカロリー等にも配慮した食事献立とするため、献立の作成に非常に苦慮していた。毎食、病人向けの治療用献立と健康人向けの通常献立の2通りの献立を考えなければならない上に、カロリー、炭水化物、蛋白質、脂質の配分量、ビタミン、ミネラル摂取量等を含めた栄養計算を毎食必ず行う必要があった。また、以上のような細かな栄養計算が必要となるため、そのような配慮の払われていないレストラン等での食事をすることはできず、家族一緒に外食の機会も制限されていた。

【0003】また、以上のような食事についての制約を持たない家庭の場合でも食事の用意を行う、例えば主婦からみれば毎日3食の食事について、献立の決定、食材の調達、レシピ（献立表）に従った調理を行うことは大変なことである。一方、健康維持増進を図るために無農薬の有機栽培のお米や野菜類、飼料や育成法に配慮した家畜による卵や食肉類を使いたいという人、肉類を控えめに魚介類を多めにした食材や使用したいという人、さらには徹底した菜食主義を行なう人もある。

【0004】このような背景を元に、特開平11-66170のレシピ提供システムにおいては、スーパーマーケットなどの食品売場に設置したコンピュータシステムに食材を購入する予算金額、糖尿病等の病状、使いたい食材等の種々の制約条件を与えると、その条件に適合するレシピを印刷して提供するという内容が記載されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】ところが、特開平11-66170においては種々の制約条件下におけるレシピの提供という範囲にとどまっていて、そのレシピに従う食材の準備や準備した食材を元にレシピにしたがった食事を調理するまでの一貫した内容を含んでいない。また同じユーザが次の日に同じシステムを利用した場合、個々のユーザを識別していない為、ユーザから使用する食材を意識的に変化させない限り同じレシピが提供される可能性がある。さらに、スーパーマーケット等に設置さ

れたコンピュータを使用するため操作面でも使いづらい面がある。

【0006】一方、食材を卸販売する食材センター、食材センターの食材を配送する配送センター、食材をユーザに販売する小売店とをインターネットで結びつけ、注文から配送、販売までを効率的に行なうシステムは従来から確立されているが、既存のシステムは限られた流通ルートをより効率的に働く為に企業の社員食堂等の規模の大きいユーザに的を絞って構築されていた。

【0007】本発明は、

①健康人向けの通常献立や食事治療を必要とする人向けの治療用献立や健康維持増進を図る人向けの食材に配慮した献立等の各種レシピの提供を含む様々な形での食事環境を提供する。

②インターネットで献立の相談窓口を設定し相談窓口とユーザとを結び付け相談窓口では個々のユーザを識別した対応を行い、今まで軽視されがちだった小口流通品に対しても効率的に対応できるようにする。

【0008】また、相談窓口で個人情報と献立情報を結び付けることにより製品に対し大きな付加価値を与える事ができる。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明の第1のインターネット献立提供システムは、ユーザが食事についてのレシピの相談とレシピの決定を行う為に家庭内に設置されたユーザ端末と、前記ユーザ端末からのレシピの相談に応対してレシピを提案する相談窓口に設置された相談窓口端末と、前記相談窓口端末からレシピで指定された食材の種類と分量についての情報を受信する食材センターに設置された食材センター端末と、前記相談窓口端末から食材センターの食材を引き取る日時と小売店への配送の日時の通知を受信する配送センターに設置された配送センター端末と、前記相談窓口端末から前記食材の配送日時と前記ユーザによる食材の受け取り日時の通知を受信する小売店に設置された小売店端末と、前記ユーザ端末と前記相談窓口端末と前記食材センター端末と前記配送センター端末と前記小売店端末を接続するインターネットと、を備える。

【0010】本発明の第2のインターネット献立提供システムは、ユーザが食事についてのレシピの相談とレシピの決定を行う為に家庭内に設置されたユーザ端末と、前記ユーザ端末からのレシピの相談に応対してレシピを提案する相談窓口に設置された相談窓口端末と、前記相談窓口端末からレシピで指定された食材の種類と分量についての情報を受信する食材センターに設置された食材センター端末と、前記相談窓口端末から食材センターの食材を引き取る日時とレストランへ配送する日時と当該食材をもとに調理済みの食事のレストランからの受け取り日時と調理済み食事の小売店への配送日時の通知を受信する配送センターに設置された配送センター端末と、

前記相談窓口端末から配送センターが配送する食材の受け取り日時とその食材から調理済み食事を作るとその調理済み食事を配送センターが引き取る日時との通知を受信するレストラン端末と、前記相談窓口端末から前記調理済み食事が配送される日時と調理済み食事のユーザへの引き渡し日時の通知を受信する小売店に設置された小売店端末と、前記ユーザ端末と前記相談窓口端末と前記食材センター端末と前記配送センター端末と前記レストラン端末と前記小売店端末を接続するインターネットと、を含むことを特徴とするインターネット献立提供システム。

【0011】本発明の第3のインターネット献立提供システムは、ユーザが食事についてのレシピの相談とレシピの決定を行う為に家庭内に設置されたユーザ端末と、前記ユーザ端末からのレシピの相談に応対してレシピを提案する相談窓口に設置された相談窓口端末と、前記相談窓口端末からレシピで指定された食材の種類と分量についての情報を受信する食材センターに設置された食材センター端末と、前記相談窓口端末から食材センターの食材を引き取る日時とレストランへ配送する日時の通知を受信する配送センターに設置された配送センター端末と、前記相談窓口端末から配送センターが配送する食材の受け取り日時とその食材により調理済み食事を作りレストランに来るユーザに提供する日時の通知を受信するレストラン端末と、前記ユーザ端末と前記相談窓口端末と前記食材センター端末と前記配送センター端末と前記レストラン端末とを接続するインターネットと、を備える。

【0012】本発明の第4のインターネット献立提供システムは、ユーザが食事についてのレシピの相談とレシピの決定を行う為に家庭内に設置されたユーザ端末と、前記ユーザ端末からのレシピの相談に応対してレシピを提案する相談窓口に設置された相談窓口端末と、前記相談窓口端末からレシピで指定された食材の種類と分量についての情報を受信する食材センターに設置された食材センター端末と、前記相談窓口端末から食材センターの食材を引き取る日時とユーザへの配送の日時の通知を受信する配送センターに設置された配送センター端末と、前記ユーザ端末と前記相談窓口端末と前記食材センター端末と前記配送センター端末とを接続するインターネットと、を備える。

【0013】本発明の第5のインターネット献立提供システムは、ユーザが食事についてのレシピの相談とレシピの決定を行う為に家庭内に設置されたユーザ端末と、前記ユーザ端末からのレシピの相談に応対してレシピを提案する相談窓口に設置された相談窓口端末と、前記相談窓口端末からレシピで指定された食材の種類と分量についての情報を受信する食材センターに設置された食材センター端末と、前記相談窓口端末から食材センターの食材を引き取る日時とレストランへ配送する日時と当該

食材をもとに調理済みの食事のレストランからの受け取り日時と調理済み食事のユーザへの配送日時の通知を受信する配送センターに設置された配送センター端末と、前記相談窓口端末から配送センターが配送する食材の受け取り日時とその食材から調理済み食事を作るとその調理済み食事を配送センターが引き取る日時との通知を受信するレストラン端末と、前記ユーザ端末と前記相談窓口端末と前記食材センター端末と前記配送センター端末と前記レストラン端末とを接続するインターネットと、を備える。

【0014】本発明の第6のインターネット献立提供システムは、ユーザの疾病情報と健康管理情報をユーザの過去の情報を含めて記憶し該健康管理情報をユーザの希望に対応するレシピを提供する相談窓口端末を備える。

【0015】本発明の第7のインターネット献立提供システムは、ユーザへの食事の献立の相談を行いユーザの健康状態にあわせた食事についてのレシピを提案し、ユーザが選定したレシピを元にした食事の準備をレストラン端末に指示する相談窓口端末を備える。

【0016】本発明の第8のインターネット献立提供システムは、ユーザへの食事の献立の相談を行いユーザの健康状態にあわせた食事についてのレシピを提案し、ユーザが選定したレシピを元にした食材の用意を食材センター端末に指示し、ユーザへの該食材の引き渡しを小売店端末に指示する相談窓口端末を備える。

【0017】

【発明の実施の形態】次に、本発明の実施の形態の構成について図面を参照して詳細に説明する。

【0018】本発明のインターネット献立提供システムは、図1を参照すると、食事の献立の相談を行うユーザが使用する家庭内に設置されたユーザ端末10と、ユーザ端末10からの献立の相談に応対し献立のサポートをする相談窓口に設置された相談窓口端末20と、相談窓口端末20からの指示を受けユーザ毎の食材の準備をする食材センターに設置された食材センター端末30と、相談窓口端末20からユーザに渡す食材や調理済み献立の期日の通知等を受ける小売店に設けられた小売店端末40と、レストラン等の料理店にあってユーザがいつどのような食材を使用する食事にくるかなどの通知を相談窓口端末20から受けるレストラン端末50と、配送センターにあって相談窓口端末20からの食材の配送の依頼を受けユーザや小売店やレストランへ配送する配送センター端末60と、前記各端末をネットワークとして接続するインターネット80と、を含んでいる。尚、前記各端末は、パーソナルコンピュータや携帯端末を含むものである。

【0019】本発明は、食事による健康管理（糖尿病食、減塩食、ダイエット食など）を行う必要があったり、玄米菜食等による健康の維持増進など健康管理に興

味を持つユーザが、ユーザー端末10からインターネット80を含むネットワークを介して食事の相談、食材の発注等を相談窓口端末20に対して行い、献立の引渡しはユーザが指定した形式（レシピのダウンロード、小売店での食材渡し、調理済献立渡し、レストランでの外食形式、等）にて行う献立提供システムである。このシステムを使用して、例えば糖尿病の患者を抱えたユーザが糖尿病の家族について、例えば来月1ヶ月間の夕食分だけのレシピを注文するような場合等に使用する事ができる。

【0020】次に、本発明の実施の形態の動作について図面を参照して説明する。

【0021】図1において、ユーザは自宅のユーザー端末10を介して相談窓口ホームページと接続する。このときユーザは、ユーザを認証するユーザ識別名やパスワードをユーザ端末10から入力して相談窓口端末20に送信する。相談窓口端末20は、この情報から当該ユーザの認証を行い、不正なユーザ識別名やパスワードによって認証が失敗するとユーザとの接続を拒否する。

【0022】ユーザがユーザ端末10から相談窓口端末20に最初に接続し献立の相談システムへの入会を希望すると、相談窓口端末20からユーザ識別名が与えられるのでユーザはパスワードを設定して相談窓口端末20に送信する。相談窓口端末20はユーザ識別名とパスワードとを当該ユーザを認証する情報として磁気ディスク装置等のデータベースに記憶する。

【0023】次に、相談窓口端末20は、図3に例示するような画面をユーザ端末10に送信しユーザの健康状態等の内容からなるユーザ個別情報の入力を求める。ユーザ個別情報は、ユーザの名前、住所、電話番号、電子メールアドレスやユーザが相談窓口の提供する各種サービスに対して支払う代金の決済を行う時のユーザのクレジットカード名、カード番号、暗証番号、支払方法等のクレジット情報も入力できるようになっている。

【0024】続いて、献立の相談を行う対象となるユーザの家族の一人一人について、例えば以下のような情報を入力する。

【0025】家族の名前、生年月日、身長、体重、体脂肪率、血圧、1日の食事の回数、食事の摂取量（多め、普通、少な目、ごく少な目、または通常の量を1としたときその何倍か等の数値情報）、病気の場合は病名（糖尿病、高血圧、肥満、過度瘦身、胃弱、過去に胃を切除した等）及び病状の程度（軽度、中度、重症）、食事の好き嫌い（好きな食べ物、嫌いな食べ物、濃い味、薄味、等）、食材の質（通常、有機栽培等）、食材の傾向（玄米菜食等）、調理方法の好み（西洋料理、中華料理、日本料理等）、その他（歯や胃腸の弱い人向けの柔らかな調理、赤ちゃん向けの離乳食、主食のご飯の要／不要、調味料の要／不要等）、生活（活動）強度（筋肉労働、デスクワーク等）、1日の平均運動時間、1日の

平均睡眠時間等である。

【0026】このような内容を初期登録した後、登録されたユーザ個別情報は時間の経過に従って、例えば病状の変化や体重の変化等につれ適宜ユーザから修正ができる、ユーザの家族の健康状態や嗜好等についての最新の情報を表すことができるようになっている。また新しい家族の追加や登録した家族の削除等も自由に行うことができる。

【0027】ユーザが以上の情報を入力すると、ユーザ端末10は相談窓口端末20にこれを送信する。相談窓口端末20は、この情報を当該ユーザのユーザ個別情報としてデータベースに記憶する。

【0028】尚、代金の支払いに関するクレジット情報は、安全性を考慮し画面による入力ではなく、郵送等の別の手段によって行っても構わない。

【0029】さて、ユーザ端末10からユーザ識別名とパスワードの入力によってユーザの認証が正常に終了すると、相談窓口端末20からユーザ個別情報に登録された家族の名前の一覧が送信され、図3に例示する画面のようにユーザ端末10上に表示される。ユーザは、相談窓口の対応を希望する家族の名前と注文する期間とを指定する。相談窓口端末20は、ユーザ個別情報で登録されている個々の家族の健康状態にあわせたレシピを指定された期間において、提案する事になる。

【0030】図3において、家族の名前と期間の指定を行いこれを相談窓口端末20に送信する。相談窓口端末20は、相談の対象と指定された家族員それぞれに対して指定された期間の注文内容の入力用として図4に例示する画面を表示する。一般には1日の食事回数は3食であるが、人によっては、1日に1食であったり5食であったりするわけでユーザ個別情報で指定された1日の食事回数を元に画面が構成される。図4は1日の食事回数が一般的な3食の場合を表している。ユーザは指定した期間の朝食、昼食、夕食それぞれについて相談窓口で設計された献立について、食材の受領場所と受け取り形式（レシピ形式、食材形式、調理済形式、外食形式）を以下の①～⑥から選ぶ事ができる。

- ①レシピのダウンロード
- ②小売店での食材渡し
- ③小売店での調理済献立渡し
- ④自宅への食材宅配
- ⑤自宅への調理済み献立宅配
- ⑥レストランでの外食形式

①のホームページ上のレシピのダウンロードは、相談窓口端末20からユーザ端末10に献立で使用する当該する家族員の健康状態にあわせた食材とその分量、必要となる調味料及びその調理法からなるレシピの送信を受けるものである。例えば、図4において1月4日の夕食は①のレシピのダウンロードを選択しているが、この欄にカーソルを置いた状態で書き込みキーの押下によって

レシピのダウンロードを指示することができ、例えば、日本食志向のユーザには、ご飯（軽く1膳）、焼き魚（中位のサバ1切れ）、酢の物（ちりめんじゅこ、大根）、野菜炒め（キャベツ、セロリ、人参、ハム）、お吸い物（ワカメ、ほうれん草、卵）、キュウリのぬか漬け3切れ等の調理法も記載したレシピが送信され図4の画面にオーバーラップして表示される。このレシピには、このレシピに従って調理を行ったこの食事の栄養分析値としてカロリー量、塩分量、ビタミン、ミネラル量等も併記される。この場合ユーザはこのレシピに従い食材を準備しレシピに従った調理を自分で行うことになる。尚、このようなレシピの内容は、他の受け取り形式を選択した場合にも同様に参照することができる。

【0031】②の小売店での食材渡しは、相談窓口が提案したレシピに従った食材をユーザが1日または1週間等の単位で小売店に出向き引き取るもので、この小売店は、相談窓口と契約をした小売店が対象となる。ユーザが小売店から引き取る食材は相談窓口の指示によってあらかじめ配送センターによって配送されている。

【0032】③の小売店での調理済献立渡しの場合は、相談窓口と契約をしたレストラン等の料理店が配送センターから受け取った食材とレシピを元にして、レシピに従って調理を行いこれをユーザの指定した小売店に基本的には毎食毎に配送を行っておくものである。小売店は小売店端末40から調理済みの献立の配送を受ける度に、ユーザ端末10に電子メールで調理済みの食事の保管中である旨の通知を行い、それを見たユーザが受け取りに行く。この場合も複数の家族員が同じ食事をとる場合は、その食事をまとめておくこともできるし別々に分けておくこともできる。

【0033】受け取り形式が④と⑤は、②と③がそれぞれユーザが小売店へ出向き食材や調理済献立を受け取るのに対し、ユーザの自宅へ直接配送センターから配送するものである。

【0034】受け取り形式が⑥のレストランでの外食形式は、相談窓口と提携するレストラン等の料理店が配送センターから配送された食材とそのレシピとにより、レストランに来店するユーザ向けの食事を調理し提供するものである。

【0035】尚、受け取り形式が②から⑥の選択を行った場合にもユーザ端末10において当該する献立のレシピの受信をすることができる。

【0036】ユーザ端末10からは、例えばある日の献立はレシピのみのダウンロードを受けてその献立には自身で調理を行い、別の日はレストランでの外食形式を選択するなど①～⑥から自由に選択をすることができる。また朝食など比較的軽い食事をする場合は、自分で食事の用意を行い、相談窓口を使用しないこともできる。

【0037】図4において、1月1日から1月3日までの朝食の指定は行われていないが、これはそれを表して

いる。糖尿病患者の場合、ある日の朝食は自身で用意し昼食と夕食は外食形式を選択する場合、昼食と夕食のレシピは事前に知ることができるので昼食と夕食で摂取するカロリー量、塩分量がわかり朝食は1日の摂取量と昼食と夕食合計量との差分を考慮した食事とすればよいわけである。

【0038】相談窓口端末20は、ユーザ個別情報の内容に従いレシピの決定をするが、予めいくつかの基本となるレシピを例えば一月先まで用意する。基本となるレシピは、健康者向けのレシピ、菜食者用のレシピ、玄米菜食者用のレシピ、糖尿病患者向けのレシピ、肥満者向けのレシピ、過度瘦身者向けのレシピ、アトピー性皮膚炎患者向けのレシピ、胃弱者向けの消化に優しいレシピ、離乳食時の赤ちゃん向けレシピ等、各種用意しておく。さらに基本となるレシピで使用する主な食材についてその食材の代替となりうる代替食材をいくつかリンクさせておく。また代替の難しいレシピの場合には他の代替するレシピもいくつか用意しておく。

【0039】尚、有機栽培の食材は、それを希望するユーザに対しては個々のレシピの食材として使用される。ユーザの好き嫌いの指定によって個々のレシピについて肉きらいの人に対する肉に代わる代替食材による代替レシピ、魚嫌いの人に対する代替レシピ等を容易に作ることができる。提案したレシピについてユーザからクレームが出た場合は、代替するレシピや食事の間隔を置いたクレームの発生しなかったレシピで代替を行うようとする。家族の構成員それぞれの健康状態やユーザからの指示事項にあわせて基本レシピが選択され、次にその家族員の食事の固有の傾向が加味される。

【0040】相談窓口端末20は、ユーザの家族員のユーザ個別情報をもとに条件に見合った献立のレシピをユーザ端末10の画面上に表示する。ユーザは画面上から献立をチェックし不満な場合は他のレシピの提供を相談窓口端末20に要求する。ユーザは納得するレシピが提案されるまで繰り返し要求する。相談窓口端末20は、別の食材を選ぶかまたは全く新しいレシピを提案してユーザの納得が得られるまで提案を繰り返す。決定済みの献立のレシピは一時的にユーザ端末10にも蓄えられる。

【0041】ユーザの健康に特に問題が無ければ、代替食材を使用してユーザの食事の好き嫌いにあわせて好きな食べ物を多くし嫌いな食べ物を少なくするような、また食事の摂取量の傾向に従って、例えば多めがいい人には多めに、少な目がいい人には少な目の配慮をしたレシピを提案する。また食べ盛りの年齢の人や生活強度が筋肉労働中心の人や1日の運動時間が長い人には食事の分量を増やしたり食事のカロリー量を高めに設定する。また睡眠時間の長い人や胃を切除した人の食事は分量を少なくする。

【0042】さらに、例えば、体脂肪率が高く健康に問

題がある人の場合は、摂取するカロリー量を少なくするようなレシピを提案する。糖尿病患者の場合は、食事によるカロリー摂取量、塩分摂取量に軽度、中度、重症の病状のレベルに応じた対応を行う。重度になるほどカロリー摂取量、塩分摂取量を少なくしていく必要があるわけである。

【0043】さらに、これらのユーザ個別情報を過去の情報についても記憶を行い、ユーザへのレシピの提案において、例えば前回提案したレシピによって体重が増加し標準以上の体重となった場合、次回のレシピの提案においては食事の量を減らしたり脂質を減らしたりする事でカロリー量を少なくするようにする。過去のデータと現在のデータとを比較することで、仮に問題が発生すればその問題の改善を図るようなレシピの提案を行うわけである。

【0044】塩、醤油、砂糖等の調味料の使用量は、特に糖尿病患者の病状に大きく影響を与えるため重要である。そのため調味料についてユーザで用意するのではなく食材センターでは各レシピに決められた調味料の量目を正確に計りどの日のどの食事のどのレシピに使用するかを調味料を入れる小さな袋の表面に記載して配達することもできる。調味料については各家庭で準備する事も可能であり、相談窓口への注文時に選択することができる。さらに主食のご飯や味噌汁等についても②～⑤についてはユーザで用意するのか宅配等を受けるかを指定できる。

【0045】また、ユーザが注文する期間は、ユーザからみると何度も注文を行うのは面倒であり、長期間の注文を一度に行いたい場合もあるが、天候等の状況によっては予定したレシピについての食材が十分に得られないまたは不作で食材が高額になるなどの変動を考慮して1月先位までとする。また食材や調理済献立渡しを含む注文は、入手を希望する一両日前までとする。

【0046】相談窓口端末20では、1月先までのレシピを常にレシピを格納するデータベースに用意しておく。レシピの食材としては、その季節にマッチした食材をふんだんに使用する。

【0047】ユーザは個々の家族員全員についてレシピとその受け取り形式を決めると、食材渡しのケースの②と④の場合は、食材の提供時の区分けの程度や提供の開始日付と提供の間隔の設定を行う。同じレシピを使用する家族員同士は、食材を食事毎、1日毎、1週間毎等でまとめることができる。但し、糖尿病等の家族員がいる場合は、その家族員に対し毎食毎に区分けすることもできる。またユーザは、受け取りや宅配をうける最初の日、受け取りの間隔（毎日、1日置き、1週間等）の指定を行う。

【0048】この設定が終えるとさらに②の受け取り形式を含む場合は、相談窓口端末20は、ユーザの住所に近い受け取り可能の小売り店舗情報を小売り店舗の名

前、住所、電話番号、電子メールアドレス等とともにユーザ端末10に送る。ユーザは受け取り可能な店舗の中から希望の店舗を選択し相談窓口端末20に希望店舗情報を送る。

【0049】さらに、⑥のレストランでの外食形式を選択している場合、最初に選択した日付から順番にそのレシピにマッチしたまたはユーザの調理方法の好みにマッチした専門料理店例えばフランス料理風であればフランス料理店の一覧、日本料理であれば日本料理店の一覧等がレストランの名称、住所、電話番号、電子メールアドレスやホームページのURL等とともにユーザ端末10に表示されるので、好きなレストランを指定していくことができる。

【0050】相談窓口端末20は、以上のようにして必要な情報の入手を終えると、ユーザからの注文についての費用総額を計算してこれをユーザ端末10に送信する。相談窓口端末20は、各食材の日々の値動きの情報を食材センター端末30から入手しこれに1週間後から1月後の短期値動き予測を行い、結果をデータベースに保存しておく。またレストランを利用する場合、個々のレストランの食材を使用しての加工費についての情報をデータベース上に蓄積しておく。献立の加工費用は献立によってばらつきはあるが、これまでの献立の平均値を使用する。費用総額の算出においてはこれらの情報を参考とするわけである。

【0051】ユーザは金額について高額すぎると判断すると例えばレストランの食事は止めて食材の提供に切り替える等の変更をすることができる、但し、高額すぎて注文を取りやめたい場合でも、すでにレシピの提供は受けているのでその分の金額の支払いは必要となる。

【0052】次に図2を元にして本システムにおける情報や食材等の全体の流れを説明する。

【0053】ユーザ端末10から相談窓口端末20にレシピの相談を行った結果（図2のa）、ユーザが費用総額について了承をすると、相談窓口端末20は、ユーザの注文した期間、注文した家族員について共通なレシピは1部にしてユーザ端末10に受け取り形式①から⑥についてのすべてのレシピをダウンロードして（図2のb）処理を終了する。

【0054】相談窓口端末20は、受け取り形式②の場合、ユーザが希望する小売店での食材の受け取り期日にあわせて食材センター端末30、配送センター端末60、小売店端末40に対し電子メールにて以下のような発注指示を含んだ通知を行う（図2のc）。尚、図2の発注指示は食材センターにまとめた形で行われているが、配送センター、レストラン、小売店のそれぞれ行つても構わない。相談窓口端末20は、食材センター端末30にはユーザが注文したレシピに従い用意する食材の種類と分量またはレシピ情報と食材を準備する日時、配送センター端末60には食材センターの用意した食材の

受け取り日時と小売店に配送する日時、小売店端末40にはユーザ向けの食材が配送センターから届く日時とユーザが引き取りにくる日時とを連絡する。小売店は配送センターから該当する食材を受け取ると(図2のd)、引き取りを行うユーザのユーザ端末10へ電子メールにて食材の引き渡し可能なことを通知する。ユーザが食材の引き取りを行うと(図2のg)、小売店ではその旨を電子メールで相談窓口端末20に通知する。

【0055】ユーザが調味料の注文もした場合、食材センターでは各レシピに決められた調味料の量目を正確に計りどの日のどの食事のどのレシピに使用するかを調味料を入れる小さな袋等の表面に記載する。

【0056】受け取り形式③の場合、相談窓口端末20は、ユーザが希望する小売店での調理済み献立の引き取り期日にあわせ、食材センター端末30には用意する食材の内容と用意する日時、配送センター端末60には食材センターの用意した食材を受け取る日時とレストランに配送する日時及びレストランから調理済みの献立を受け取り小売店に配送する日時、レストラン端末50には食材が配送される日時と調理された献立を配送センターが引き取る日時と当該食材についてのレシピ情報、小売店端末40には配送センターが調理済み食材を配送する日時とユーザの引き取り日時とを通知する。レストランでは食材の配送を受けると(図2のf)レストラン端末50で受信したレシピに従って調理を行い、配送センターからの受け取りを待つ。小売店では調理済みの献立の配送を受けると(図2のi)小売店端末40からユーザ端末10に電子メールで献立の保管中の旨を連絡する。ユーザが小売店に出向き、献立の受け取りを行うと(図2のg)、小売店ではその旨を電子メールで相談窓口端末20に通知する。

【0057】受け取り形式④と⑤の場合は、受け取り形式②と③と同様で相違は、配送センターの最終の配送先が小売店でなくユーザ宅となっている。配送センターではユーザ宅への宅配を終えると(図2のeとj)、配送センター端末60からその旨を相談窓口端末20に通知する。

【0058】受け取り形式⑥の場合、相談窓口端末20は、ユーザが希望する外食する日時にあわせ、食材センター端末30には用意する食材の内容と用意する日時、配送センター端末60には食材センターの用意した食材を受け取る日時とレストランに配送する日時、レストラ

ン端末50には食材が配送される日時とそのレシピ及びユーザがレストランに食事にくる日時を通知する。当該レストランにユーザが食事に訪れると(図2のh)、レストランではレストラン端末50からその旨を相談窓口端末20に通知する。

【0059】ユーザの代金の支払いは受け取り形式が①のみの場合は、相談窓口が費用総額の見積もりを行った時点となるが、その他の受け取り形式を含む場合は、①と同じでもよいし、最後の食材の受け取り等の完了時としてもよい。

【0060】

【発明の効果】第1の効果としてユーザは小売店の営業時間内であれば、その時間内の都合の良い時にその小売店で食材や調理済み献立を受け取ることができることである。特に、小売店が24時間営業の店であれば、その効果は顕著である。

【0061】第2の効果としてユーザに疾病や栄養学の知識が無くても多彩なメニューの中から病状にあった食事を選択できる。また、レシピに疾病別のアドバイスを付ける事により自然に栄養知識を身につけてゆく事ができる。

【0062】第3の効果としてユーザは、受け取り形式を外食形式に指定すれば、指定された店舗(契約ファミリーレストラン等)で通常の外食として食事ができる。

【0063】第4の効果として小売店は顧客層の拡大を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の構成を示すブロック図である。

【図2】本発明の情報や食材の流れを示した詳細ブロック図である。

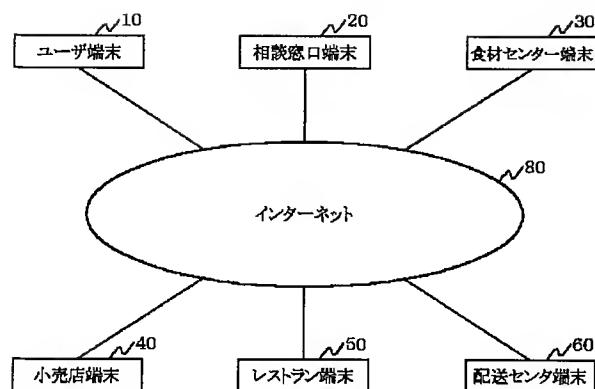
【図3】本発明のユーザ端末に表示される画面例である。

【図4】本発明のユーザ端末に表示される画面例である。

【符号の説明】

10	ユーザ端末
20	相談窓口端末
30	食材センター端末
40	小売店端末
50	レストラン端末
60	配送センター端末
80	インターネット

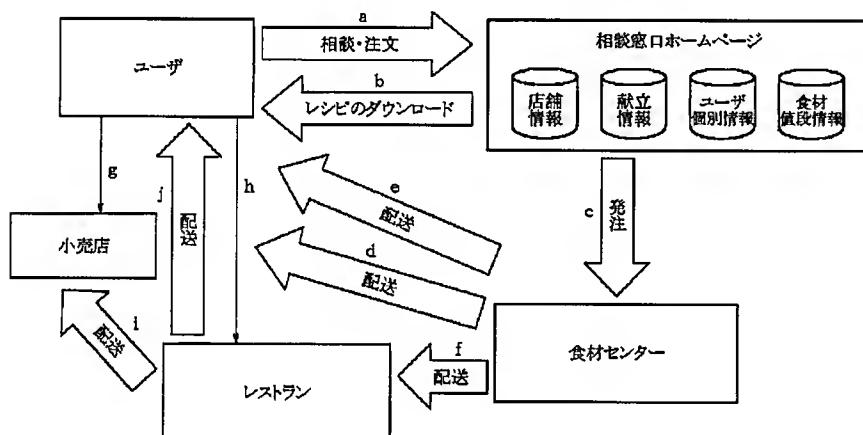
【図1】



【図3】

チェック	御家族名	開始日	終了日
<input type="checkbox"/>	山川 秀夫 様	01.01.01	01.01.31
<input type="checkbox"/>	山川 吉子 様	01.01.01	01.01.31
<input type="checkbox"/>	山川 道夫 様		
<input type="checkbox"/>	山川 敏子 様		

【図2】



【図4】

山川 秀夫 様

2001年1月1日～2001年1月7日迄の献立予定

御注文の内容を選択下さい。(①～⑥)

- ①レシピのみ
- ②お店での食材渡し
- ③お店でのお食事渡し
- ④食材の配達
- ⑤お食事の配達
- ⑥レストランでのお食事

	1月1日(月)	1月2日(火)	1月3日(水)	1月4日(木)	1月5日(金)	1月6日(土)	1月7日(日)
朝食				①	①	①	①
昼食	③	③	③	①	②	②	②
夕食	⑥	⑥	⑥	①	②	②	②

カーソル

続ける
打ち切る

フロントページの続き

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マコ-ト (参考)
G 06 F 17/60	3 2 6	G 06 F 17/60	3 2 6
	3 3 4		3 3 4
B 65 G 1/137		B 65 G 1/137	A